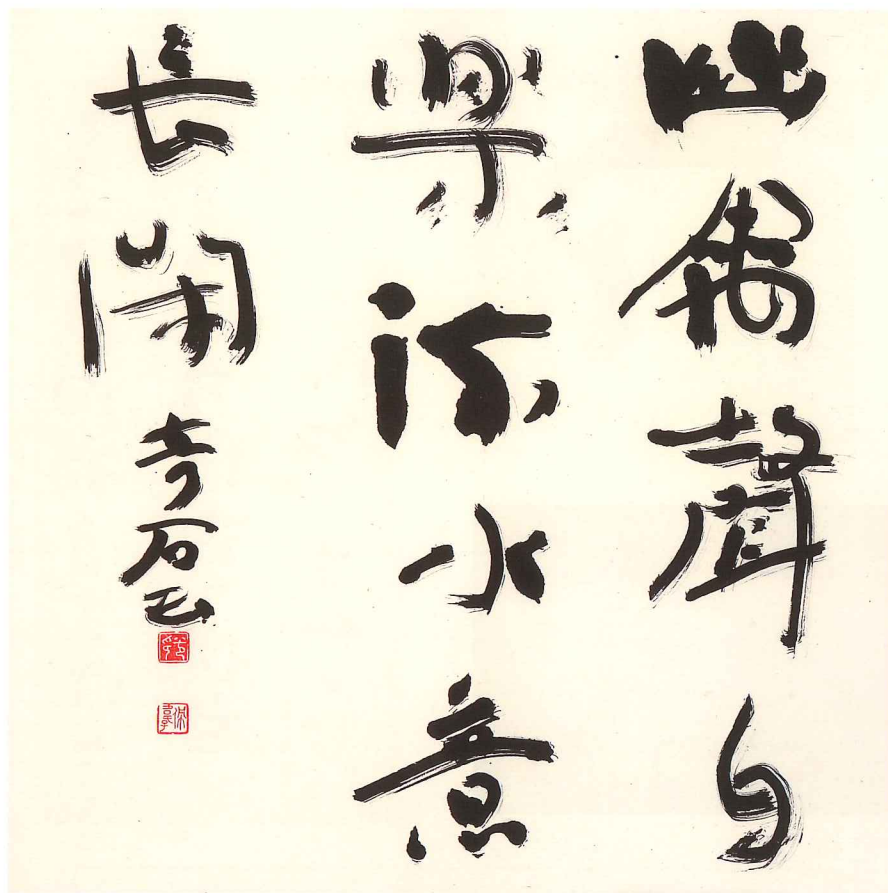


# 小坂奇石の小品

## —その多彩な表情



小坂奇石「韓琦詩句」77歳筆

### 2019年 6月21日(金)～8月4日(日)

1階 特別展示室・ギャラリー

#### 作品解説 (申込必要)

7月14日(日) 13:30～14:30

講師/佐藤芳越(璞社副会長)

定員/80人(先着順)

#### 展示解説 (申込不要。観覧券必要)

7月24日(水) 11:00～11:30

講師/立石充(当館学芸員)

※作品解説の申し込みは、はがき、FAX、メールのいずれかに「小坂奇石展 作品解説」と明記の上、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入し、当館までお申し込みください。当館1階受付でも申し込みます。

開館時間 9:30～17:00

休館日 月曜日(ただし7月15日は開館、翌日休館)

観覧料 一般510円(400円)

高校・大学生350円(280円)

小・中学生250円(200円)

( )内は20人以上の団体割引料金。

小・中・高校生は土・日・祝日・夏休み期間中は無料です。高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額です。

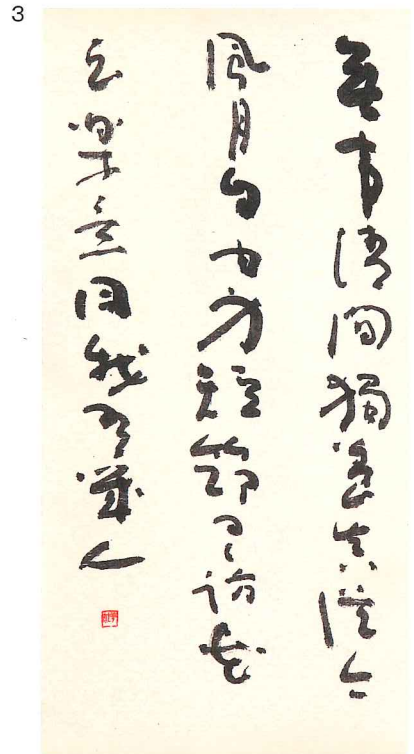
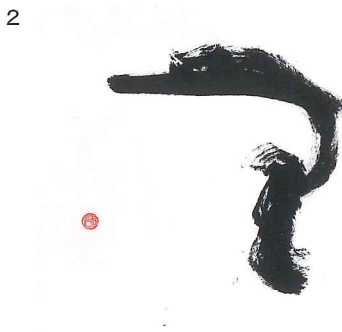
※特別展観覧券で常設展もご覧いただけます

主催 徳島県立文学書道館  
 後援 徳島県教育委員会 徳島新聞社  
 NHK 徳島放送局 四国放送




徳島県海部郡美波町生まれで、昭和を代表する書家として知られる小坂奇石（1901～91年）は、気迫みなぎり観る者を圧倒する名品を多く残しています。

一方で、洒脱・柔和・枯淡な作風など、多彩な魅力に富んだ数々の小品も見逃せません。本展では、当館の所蔵品の中から奇石の表情豊かな小品にスポットをあて、陶磁器の書6点を含む、選りすぐりの46点を紹介します。



1 「天随」60歳筆 2 「無」88歳筆  
3 「自作詩」88歳筆 4 「澹泊」64歳筆  
5 「袁随園詩 普陀寺」制作年不詳



小坂 奇石（こさか・きせき）  
本名・光太郎。16歳で黒木栞石に師事し、1955年、54歳のとき璞社を設立した。現代書道二十人展には第1回（57年）から第36回（92年・遺作）まで出品。70年、日展で文部大臣賞、81年には日本芸術院恩賜賞・芸術院賞を受賞した。



●交通アクセス（JR徳島駅から）

徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

バス

〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線（右回り）」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し徒歩で約5分。  
〔徳島バス〕2番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し徒歩で約5分。

タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。当館北側に駐車場があります（43台・大型バス2台）。

●展示のお知らせ

書道企画展

中林梧竹の篆書と隷書

6月18日（火）～10月1日（火）

●イベントのお知らせ

ことのはロビーコンサート

演奏者 石井琢磨（ピアノ）

7月28日（日）14：00～15：00

入場無料・申込不要

〈作品募集のお知らせ〉

第4回 書道創作グランプリ 予選

8月16日（金）～9月7日（土）必着応募資格、出品規定などは当館ホームページの「募集要項」をご覧ください。